

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月12日

上場会社名 株式会社リミックスポイント 上場取引所 東  
 コード番号 3825 URL http://www.remixpoint.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)高田 真吾  
 問合せ先責任者 (役職名)管理本部長 (氏名)足立 啓治 (TEL)03(6206)2220  
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日~平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	126	△12.0	8	—	16	—	15	—
23年3月期第1四半期	144	△36.3	△55	—	△101	—	△121	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 15百万円(—%) 23年3月期第1四半期 △121百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年3月期第1四半期	319	82	313	99
23年3月期第1四半期	△7,450	47	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	340	—	76	—	22.5	—
23年3月期	377	—	13	—	3.6	—

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 76百万円 23年3月期 13百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
23年3月期	—	0 00	—	0 00	0 00	0 00
24年3月期	—	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0 00	—	0 00	0 00	0 00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日~平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	219	△26.8	△3	—	△23	—	△23	—	△493	81
通期	429	△25.5	20	—	△0	—	△2	—	△44	66

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 ( )、除外 一社 ( )

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

24年3月期1Q	48,191株	23年3月期	48,191株
24年3月期1Q	120株	23年3月期	120株
24年3月期1Q	48,071株	23年3月期1Q	16,258株

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計処方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) 重要な後発事象	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績に一部好転する動きがあったものの、東日本大震災の影響もあり、景気が弱い動きとなっているほか、失業率が高水準にあるなど企業業績の見通しは依然として厳しい状況にあります。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間において当社グループは、主力製品となるImage Reporter（イメージレポーター）、Corporate CAST（コーポレートキャスト）の販売やカスタマイズ、サポートの提供に注力するとともに、受託案件の選別受注の徹底を図ってまいりました。

その結果、期初の売上計画を若干上回るペースで推移し、売上高は126百万円（前年同期比12.0%減）、営業利益8百万円（前年同期は営業損失55百万円）、経常利益16百万円（前年同期は経常損失101百万円）、四半期純利益15百万円（前年同期は四半期純損失121百万円）となりました。

なお、当社グループは、ソフトウェア開発関連事業のみであるため、セグメントごとの記載はしていません。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、340百万円となり、前連結会計年度末（377百万円）に比べ37百万円減少となりました。その主な要因は、現金及び預金15百万円、売掛金12百万円の減少があったこと等によるものです。

負債合計は263百万円となり、前連結会計年度末（363百万円）に比べ100百万円減少となりました。その主な原因は、1年内返済予定の長期借入金37百万円、未払金20百万円、前受金13百万円、長期借入金15百万円の減少があったこと等によるものです。

なお純資産は、76百万円となり、前連結会計年度末（13百万円）に比べ、62百万円の増加となりました。その主な要因は、株式会社メガディーの連結除外による増加47百万円及び当期純利益の計上15百万円による利益剰余金62百万円の増加があったことによるものです。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月13日に開示いたしました当期業績予想を修正いたしました。

第2四半期、通期業績の詳細については、本日公表いたしました、「業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、当第1四半期連結累計期間において、四半期純利益が計上されたものの、継続的かつ安定的な利益計上に不確実性が認められることから、継続企業の前提に関する重要な疑義が生じております。

当該状況を解消すべく、今後における業績維持および収益確保に向け、主力製品となる Image Reporter (イメージレポーター)、Corporate CAST (コーポレートキャスト) への研究開発費等の合理的なコスト・コントロールを実践するとともに、新たな市場と顧客開拓に向けた事業体制の改善と強化を目的とした積極的なパートナー・アライアンスの構築を目指します。さらに、グループ一体となった経営資源集約とコスト削減等、より一層の経営合理化の継続と実現に取り組んで参ります。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	235,790	220,327
売掛金	32,891	19,951
製品	15,747	14,304
仕掛品	1,734	431
前払費用	11,666	11,223
未収入金	19,097	12,517
短期貸付金	—	74,650
その他	4,432	3,255
貸倒引当金	△2,290	△69,703
流動資産合計	319,069	286,957
固定資産		
有形固定資産	12,502	12,231
無形固定資産	29,621	29,108
投資その他の資産		
投資有価証券	1,279	1,248
長期前払費用	4,771	3,335
敷金及び保証金	9,722	7,155
固定化営業債権	25,580	25,433
その他	2,032	2,032
貸倒引当金	△27,115	△27,466
投資その他の資産合計	16,269	11,739
固定資産合計	58,393	53,079
資産合計	377,463	340,037
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	12,618	5,402
1年内償還予定の社債	129,600	129,600
1年内返済予定の長期借入金	37,616	—
未払金	27,091	6,380
未払費用	21,547	18,841
未払法人税等	3,896	1,080
前受金	18,861	5,485
預り金	6,495	3,648
その他	2,202	5,385
流動負債合計	259,929	175,825
固定負債		
社債	81,600	81,600
長期借入金	15,825	—
その他	6,513	6,158
固定負債合計	103,938	87,758
負債合計	363,867	263,583

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	934,663	934,663
資本剰余金	854,663	854,663
利益剰余金	△1,757,010	△1,694,121
自己株式	△18,000	△18,000
株主資本合計	14,316	77,205
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△720	△751
その他の包括利益累計額合計	△720	△751
純資産合計	13,596	76,454
負債純資産合計	377,463	340,037

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	144,230	126,911
売上原価	83,299	54,630
売上総利益	60,931	72,280
販売費及び一般管理費	116,326	64,155
営業利益又は営業損失(△)	△55,395	8,124
営業外収益		
受取利息	—	259
受取配当金	—	5
償却債権取立益	—	9,523
その他	4	8
営業外収益合計	4	9,797
営業外費用		
支払利息	2,808	1,165
支払手数料	18,683	440
株式交付費	24,152	—
貸倒引当金繰入額	—	259
営業外費用合計	45,645	1,865
経常利益又は経常損失(△)	△101,037	16,056
特別利益		
子会社株式売却益	—	0
貸倒引当金戻入額	2,504	—
特別利益合計	2,504	0
特別損失		
過年度訂正に係る損失	21,869	—
特別損失合計	21,869	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△120,402	16,056
法人税、住民税及び事業税	727	682
法人税等合計	727	682
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△121,129	15,374
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△121,129	15,374

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△121,129	15,374
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△120	△30
その他の包括利益合計	△120	△30
四半期包括利益	△121,249	15,343
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△121,249	15,343
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）

当社グループは、当第1四半期連結会計期間において、四半期純利益が計上されたものの、継続的かつ安定的な利益計上に不確実性が認められることから、継続企業の前提に関する重要な疑義が生じさせるような状況が存在しております。

当該状況を解消すべく、当社グループは、今後における業績維持および収益確保に向け、主力製品となるImage Reporter（イメージレポーター）、Corporate CAST（コーポレートキャスト）への研究開発費等の合理的なコスト・コントロールを実践するとともに、新たな市場と顧客開拓に向けた事業体制の改善と強化を目的とした積極的なパートナー・アライアンスの構築を目指します。さらに、グループ一体となった経営資源集約とコスト削減等、より一層の経営合理化の継続と実現に取り組んで参ります。

しかしながら、事業面についての対応策は実施途上にあり、景気の動向及び情報サービス産業市況にも影響されるため、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、四半期連結財務諸表は、継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表に反映しておりません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）

当第1四半期連結累計期間より、株式会社メガディーを連結の範囲から除外したことに伴い、利益剰余金の当期変動額に、連結除外による増加高47,514千円を計上しております。

(5) 重要な後発事象

連結子会社の吸収合併

平成23年7月27日開催の取締役会において、当社の連結子会社である、株式会社ディーシースクエアを吸収合併することを決議いたしました。その概要は次のとおりであります。

1. 合併の目的

株式会社ディーシースクエアの技術的特長を含む開発ノウハウと当社技術の融合による事業推進力の向上を図るとともに、経営資源を集中し、組織運営の強化・効率化することを目的として、同社を吸収合併することといたしました。

2. 合併する相手会社の概要

商号	株式会社ディーシースクエア
事業の内容	受託開発、保守、受託運営
資本金の額	70百万円
純資産の額	6百万円
総資産の額	47百万円

3. 合併の要旨

(1) 合併の日程

取締役会決議日	平成23年7月27日
契約締結日	平成23年7月27日
合併期日（効力発生日）	平成23年9月1日（予定）

(2) 合併方式

当社を存続会社とする吸収合併方式で、株式会社ディーシースクエアは解散いたします。

(3) 合併に係る割当ての内容

当社は株式会社ディーシースクエアの発行済株式の全部を所有しておりますので、本合併による新株式の発行および金銭等の割当てはありません。